

協議テーマ アンケート結果(地域まちづくり方針別) (追加含む)

方針	テーマ	ねらい(目的)	ジャンル	キーワード	主な自治センター担当課	関係機関・団体
1	1	有線放送事業のあり方(地域振興課より)	広報情報	有線放送 情報 通信インフラ整備 災害 コミュニティ	地域振興課	(真田地区有線放送電話審議会)
	2	広報等に「地域情報プラザ欄」を設置、市民記者が運用	広報情報	協働 情報 ネットワーク構築	地域振興課	
	3	～住民自治～ 『住民自治力の向上とコミュニティデザイン』	住民自治	共助 住民参加 地域自治力向上 コミュニティ	地域振興課	
魅力ある農業の推進	2	ゆめ工房の活用について	農業 観光	夢工房 観光客 若い 特産品・メニュー等	産業観光課	JA信州うえだ 商工会 真田地区営農活性化委員会
	5	地域内での更なる農産物の地産地消のシステムの構築	農業	地産地消 荒廃地・遊休地等 若い	産業観光課	JA信州うえだ 真田地区営農活性化委員会
	6	遊休荒廃地の減少と有効利用	農業	団塊世代リタイア組 荒廃地・遊休地等 観光資源 農産物直売所	産業観光課	JA信州うえだ 真田地区営農活性化委員会
	7	真田地域の観光振興	観光	大河ドラマ ラグビーワールドカップ 道の駅 6次産業化 周遊	産業観光課	商工会・JA信州うえだ・真田地区営農活性化委員会・上田市にラグビーワールドカップキャンプ地を誘致する会
8	真田地域の特徴ある観光資源を活かした観光ビジョン	観光	観光資源 特産品・メニュー等	産業観光課	JA信州うえだ 商工会	

方針	テーマ	ねらい(目的)	ジャンル	キーワード	主な自治センター担当課	関係機関・団体
9 3	~観光~ 『真田地域の一体型観光とホスピタリティの強化』	【ねらい】真田地域の観光の活性化と住民が参加してのオモテナシで地域住民にも恩恵があるような観光資源の開発とホスピタリティの強化。 【課題】真田氏は人気が出てきているなかで観光需要はあるが、真田氏観光が上田が中心で真田地域が遅れているのではないかと？ 【取組】 ・観光拠点として、幸村の郷夢工房を道の駅のような機能強化はできないか？(管轄の問題もあるがクリアできないか？) ・真田地域の歴史的な場所のメイン箇所もルートに入れた循環型バスの運行。 ・お土産や食事などを提供する人材育成(ホスピタリティや起業支援) = 休憩場所や楽しめる(食や買い物)ところが地域に点在できるようなもの。 ・真田の郷の風景や歴史を楽しめるような施策	観光 公共交通	一体型観光 おもてなし・ホスピタリティ 夢工房 道の駅 バス 風景・景観	産業観光課	観光コンベンション協会 JA信州うへだ
	農地利用による特色ある観光の振興 耕作放棄地の有効利用について	中山間地における農地は、農地として維持することが大変難しくなっている状況である。観光客を呼び込む為の景観作物の植え付けによる観光振興の発展の為として農地維持の整備が進められる。	観光 農業	風景・景観	産業観光課 建設課	JA信州うへだ 真田地区営農活性化委員会
	「魅力ある町づくり」	上田市外・県外の方に真田町のいいところをピーアールしたい。 真田氏だけじゃない真田町の魅力を見つける。 例えば、神川でウォータースライダーとか、蛭を繁殖させたり、真田地域で街コンとか。	観光	魅力 ピーアール	産業観光課	
	ゆきむら夢工房を中心に真田地域内のさらなる充実をはかってもらいたい	農産物、商工業者の物も展示できたら、地域内の展示物なども観光につなげていければ！	観光	夢工房	産業観光課	JA信州うへだ 商工会
	住民が元気な町づくり	自治センターから十福温泉の間に何ヶ所かの情報発信基地をつくる。(大昔の峠の茶屋のような)道路沿いの空き地、空き家などを整地して駐車スペースを造る。 通りすがりの人が、何だろう？寄ってみようか。おもしろそうだと思うような内容(市の情報パンフレット、この位置から見える景色の説明とか、ベストポイント、野菜などを売ってくれる人の連絡先など)にする。内容は頻繁に変えていく。 何回か立ち寄り、人々に認知されてきたら人々の要望を商品化する。	観光	情報 空き地 空き家 風景・景観 商品化	産業観光課	
	お屋敷の増改修と各地域に残る城址等の整備	史跡や言い伝え等からの土塁等の修復、建物の改修を(つつじだけでは?)のろして各地域をつなぎ、話題の提供と地域活性化を	文化 観光	史跡 土塁 地域活性化	教育事務所 産業観光課	
15 4	地域の活性化に向け安心して暮らせる交通ネットワークの整備 運賃低減バスの実証実験の検証	昨年の10月の導入から8か月目に入り現状を把握して更なるテコ入れが必要か、それとも別の交通手段の検討も考慮すべきかの判断をする時期と考える。	公共交通	バス	建設課	真田地域公共交通利用促進協議会
	~公共交通・観光~ 『住民や観光に至便のよい持続的かつ安定的な地域公共交通』	【ねらい】バスの利用を高める 【課題】・運賃低減バスの運行の利用者の推移はどうか？ ・運賃やイベントによる利用者増は限界ではないか？ = 一度下げた運賃の値上げは厳しいものである 【取組例】 バス利用の促進を図る施策 ・ルートを真田地域の観光資源となる場所を周遊するコースと日常の住民利用の利便性を考慮したルートにて再検討を行う。 例)上田駅 下原 お屋敷 (有料)長谷寺下 角間入口 横沢 真田 戸沢 真田温泉 幸村夢工房 本原 上田駅 上田駅 本原 役場入口 夢工房 石舟 真田 横沢 ...といった逆コース ・30分間隔運転による利便性の向上による利用促進	公共交通	バス 周遊	建設課	真田地域公共交通利用促進協議会
17 4	真田地域の幹線バス確保策を	限界集落になりバス経営成り立たなくなる前に対策をしたい	公共交通	限界集落 バス	建設課	真田地域公共交通利用促進協議会

協議テーマ アンケート結果(地域まちづくり方針別) (追加含む)

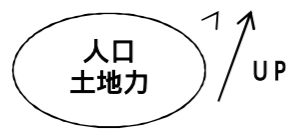
方針	テーマ	ねらい(目的)	ジャンル	キーワード	主な自治センター担当課	関係機関・団体
18	5	高齢者の買物、医療の通院について	福祉 商工業 公共交通	高齢 ボランティア	健康福祉課 等	社会福祉協議会
19	5	将来都市像としての「健幸都市」	福祉 住民自治	高齢(老齡) 互助	健康福祉課 地域振興課	社会福祉協議会
20	5	～福祉～ 『ノーマライゼーションとマイノリティの方も誰もが助け合える社会へ～住民も観光で来る人も誰もが居心地のよい地域へ』	住民自治 福祉	住民が主体 障がい 高齢(老齡) ボランティア 市民社会活動参加 交流 観光資源	健康福祉課 地域振興課 等	
21	5	～福祉～ 『自宅で受けられる医療と福祉サービス』～は可能か？	福祉	共助	健康福祉課	
22	5	「安心して暮らせる地域づくり」	福祉 子育て	子ども 若い 定住	地域振興課 等	
23	6	習地と域生に涯スボしたッ生の涯促学 「お年寄り力(おとしよりりょく)を生かす」	生涯学習	高齢(お年寄り) 知恵・知識	教育事務所	公民館 長寿会
24	6	交流文化芸術センターの利用(真田町文化協会としての課題)	生涯学習	文化 サントミュージゼ	教育事務所 (本庁担当課)	

分類困難だが、コミュニティという観点で捉えられるテーマ

方針	テーマ	ねらい(目的)	ジャンル	キーワード	主な自治センター担当課	関係機関・団体
25		商工業・過疎化のこと		商工業 過疎化 高齢	地域振興課 等	
26		次の世代、後継者に引き継ぐには	住民自治	後継者	地域振興課	自治会等

方針	テーマ	ねらい(目的)	ジャンル	キーワード	主な自治センター担当課	関係機関・団体
27	若い方の参加 (真田町文化協会としての課題)	文化協会加入者が高齢化しており、団体数も減ってきている。もっと気軽に若い人たちが大勢参加できるような協会になればと考えている。	市民生活 生涯学習	高齢(老齢) 若い文化	地域振興課 教育事務所	
28	真田町の存続も心配です	地区離れが多く、各地の戸数も減り、一人暮らしの家も多くなり、子どもが少ない現状です。 この問題は、国・県全体の事のようにです。 何とかしないと、真田町として残せなくなると不安です。 長寿会においても現在町内36区のうち、10区が休会に入っており老人は沢山いるのに役員をやる人がいない理由で簡単に休会を考えているようです。 先日の町民体育祭も出る区が少なくびっくり。 何とか良い案がないでしょうか。	市民生活	地区離れ 戸数減 一人暮らし 子ども 長寿	地域振興課 市民生活課 健康福祉課	長寿会

地域まちづくり方針での分類が多岐にわたるもの等

方針	テーマ	ねらい(目的)	ジャンル	キーワード	主な自治センター担当課	関係機関・団体
29	空き家 有効活用	真田地域も高齢化が進み、農地も荒廃。空き家と荒廃地の有効活用で、活性化につなげていけるような取り組みができないか。	市民生活	空き家 荒廃地・遊休地	政策企画局)	(田舎暮らし「楽園信州」 推進協議会)
30	地域内での空き家をなくすようなくみ作りを考える	各地域にある空き住宅を、菅平高原にいらっしゃった観光客の皆様で真田に定住したい方に住宅を紹介できるシステムを作る。	市民生活	空き家 荒廃地・遊休地	政策企画局)	(田舎暮らし「楽園信州」 推進協議会)
31	真田町を育む 	① 町の年齢別人口の割り合い ・町ぐるみの婚活(若者・子供増) ・高齢者の生活の実態と活動の場の提案を。 ② 耕作可能な遊休地の利用考案 ・農業のすすめ 健康的、収入増、楽しみ (町ぐるみ農業) 真田町特産品 = 経済	市民生活 福祉 農業	婚活 高齢 荒廃地・遊休地	健康福祉課 産業観光課 等	社会福祉協議会 公民館 JA信州うえだ 真田地区営農活性化委員会
32	~ 防災・地域自治 ~ 『住民共助による防災体制とコミュニティ放送による地域の住民の活性化』	【ねらい1】 要援護者支援MAPだけでなく、要援護者に陥ってしまう人を助け合うシステムづくり。ハイリスク者 リスク予備軍～リスク要因となりえる人 【課題】要援護者支援への取り組みも重要であるが、要援護者以外で要援護者となってしまう可能性のある人への取り組みが災害時には重要である。 要援護者は、支援が回るがこれらの人は後回しになってしまい、結果リスクを高めてしまう。 【取組】地域コミュニティ強化へ向けて、『地域支援員』を置き、民生委員、福祉委員と一体となってさらに大きな地域の視点で地域の自治会や公民館活動への提言や課題解決に向けた継続的な取り組みを行う。 (自治会長が1年で交代してしまうことでの自治会の取り組みのムラをなくす) 【ねらい2】 コミュニティFMによる地域情報発信および地域内情報共有、災害時の情報提供 【課題】・有線放送は災害時に線が切れた場合使用できない ・家単位であり移動しながらや個別で聞くことができない 【取組の効果】 ・移動中でも車でもその地域でラジオさえあれば地域情報と他の局から全国情報を入手できる。 ・通常の放送では有線放送同様に地域に密着した放送をすることで地域内での情報共有を図れる。	住民自治 防災 福祉	災害 共助 要援護者 コミュニティFM 情報 有線放送	地域振興課 健康福祉課	
33	~ 農林 ~ 『里山と遊休荒廃地の利用および空地空き家の利用促進策』	【ねらい】真田の里の風景をよりよくし、地域定住人口の増加と観光そして地域力を農地と空家の解決を図りながら推進する。 【ねらい】里山利用仲介センターの創設などにより里山の利用を高める。 里山利用により自然動物とのよりよい共生環境を探る(有害鳥獣の人里への接近を避ける)	市民生活 農業 観光	遊休荒廃地 空き地 空き家 風景・景観 里山	産業観光課 (政策企画局) 等	JA信州うえだ 真田地区営農活性化委員会
34	その他 ~ 教育 ~ 『地域コミュニティ型スクールの導入』	【ねらい】教育にさらに地域が主体的にかかわり、子どもの育成環境を整える。 = 地域の農地で学校やクラスが畑を手伝う。 = 生徒と住民で観光や生産物の開発を行う。 = 学校が地域のカルチャーセンターのような使用ができるようなシステムづくり(子どもの安全を踏まえた体制やシステム)	学校教育 農業	コミュニティ 子ども	(教育委員会 学校教育課)	